



ほん 大好き

INFORMATION Book

今月新しく 入りました。

※3月の新刊は、1日(月)から貸し出しを始めます。

📖 一般の本

- ・復讐の協奏曲 (著=中山七里)
- ・銀の夜 (著=角田光代)
- ・「好き」が「才能」を飛躍させる (著=角野美智子)

📖 子どもの本

- ・かいけつゾロリ きょうふのエイリアン (作=原ゆたか)
- ・またまたうそだあ!! (作=サトシン)
- ・おともだちに なってくれる? (文=サム・マクブラットニイ)

中でもこの本が **オススメ** です。

朝焼けにファンファーレ 著=織守きょうや

それぞれの想いを胸に秘め、法律のプロを目指す司法修習生たち。

優秀けどまだまだ成長中の彼らと過ごす日々が、教育にあたる大人も変えていく。

現役弁護士でもある著者が贈る、理想と現実に悩みながら進む彼らと、それを見守る大人のリーガル青春小説!!



なんでも レストラン 作=鈴木まもる

「ぼく」はコックさん、ここはなんでもレストラン。ライオンさんが食べたいのは、くさくさしたのを、からーいととろとろで、たくさん) だって! さあ、なにができるかな?



子どものお話の会お休みのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により

3月の子どものお話の会はお休みします

広がる本だな

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だなどでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介します。今月の紹介者は池野菊代さんです。

すぐ死ぬんだから

著=内館牧子

著

者は小説家の他に東北大学相撲部監督・元横綱審議員も務めた異色の作家です。

すぐ死ぬんだから・・・一見暗い本をイメージしますが、笑いあり涙あり一気に読み終えます。人生百年時代の新終活小説です。

一般的に老人は本題のように楽が一番「すぐ死ぬんだから」と老後の生き方の免罪符になります。主人公忍ハナも変わりありません。ところが立ち寄ったブティックで

字のないはがき

原作=向田邦子 文=角田光代

原

作はエッセイです。太平洋戦争時、向田家の小さな妹の疎開にまつわる話です。戦争が激しくなり妹は疎開に至ります。お母さんは沢山の着に名札を縫い付け、お父さんは字の書けない妹に自分宛てに沢山の葉書を託します。

「元気な日は葉書に丸(○)を書いてポストに毎日入れなさい」と。小さな妹は遠足にも行くように嬉しそうに出発します。

実年齢より高齢に見られショックを受けます。以後外見磨きに目覚めます。加齢に抗い老いを遠ざけます。ハードルを高くして隠居生活の夫、岩造とも「ハナさん好き好き」の幸せな日々が続きますが、夫の突然の急死。その後夫の最大級の裏切りが発覚。お話は急展開。ハナは荒波におぼれ、乗り越え、悲観することもなく意外な耳新しい死後○を選択します。後半のドラマの飛躍が面白く社会性もあり品格ある老後を作者は謳っています。

そうして一週間後、初めて大きな赤い○印の葉書が届きます。しかし安心した家族のもとに葉書は次第に小さな○印に、遂に葉書は来なくなりました・・・小さな妹に心を寄せるお話です。是非親子で一読を!!

絵は各ページに母の手縫いの名札、父の葉書、家族の足元の下駄、妹を表す一輪のたんぽぽ・・・と登場人物の顔は描かれていませんが、逆に力強いメッセージが伝わります。

「元気な日は葉書に丸(○)を書いてポストに毎日入れなさい」と。小さな妹は遠足にも行くように嬉しそうに出発します。

